30 de Maio de 1919 No. 90

Noticias do Brazil

大正八年五月三十日　金曜日　第九十號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado No. 89
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 10$000
,, Semestre ——— 5$500
,, Mez ——— 1$000
,, Semana ——— $800

民主主義とは何か

這回の大戰で、獨逸の軍國主義が倒れ、北米の民主々義が榮えたので世界到る處民主々義を謳歌するに至つたが、就中新規を好む日本では、誰も彼も口に民主々義を唱へざる者はなく、藝妓、車夫、馬丁の末に至る迄、私えが民本主義ですよと言つた樣な調子であると云ふことである。

民主々義洵に結構である、世は民主々義ならでは平和に往くものではない、併し如何に口に民主々義を百萬遍唱ふるとも、之を實行せざれば何の役にもたゝぬ、況んや我が國人の如く其の意味だも解せざる者に於てをやである、一體民主々義とは何であるか、世の人はウヰルソン大統領が『デモクラシー』を高潮するに於て、始めて民主々義の有難さを感ずるが如きも、『デモクラシー』とは庶民をして國政に參與せしむるの謂で今日の立憲國では何れも皆な此の主義を採つてゐるではないか。

所が盲目者の多い世の中の悲しさ爲めにする政治家や學者の言に乘せられ、民主々義は共和國の專賣かの如く思惟して、騷ぎ廻はる者の少なからざるは情けないことである、偶ま君主制の獨逸が軍國主義を奉じて世界の平和を攪亂した爲めに、君主國と云へば直ちに軍國主義を聯想する樣であるが、併し之は羹に懲りて膾を吹の類で、其の愚も亦甚だしと云ふべきである。

先づ他の國は姑く別として、吾々に最も關係の近い日本と伯國とを比較して見れば、直ぐ『デモクラシー』なるものゝ內容が解るのである、即ち伯國は北米を手本として作つた所の共和國であるに反し、日本は三千年來萬世一系の皇室を戴ける君主國であるから、國體から云へば兩者其の性質を異にするも、國家として政治を行ふ上から云へば等しく立憲制體であつて、民を主として政治を行ふことは同一である。

一寸考ふれば、共和國は元首たる大統領を選擧するも、君主國は君長が世襲であるから、其の間何等か大なる懸隔がある樣に思えるが、實は双方共に憲法なるものがあつて議會を設け、此の議會に庶民の代表者を出して國家の重要事項を議せしめ、更に之が議決に裁可若くは署名の形式を得て法律となるのであるから、君主國の日本も、共和國の伯國も政治の上から云へば等しく民を主とする所の民本主義であつて、君主國とは雖も決して君長が專斷に政治を行ふことの出來るものでないことは明かである、然るに北米は自分が共和國たる所から、世界を擧げて共和國たらしめんとし、誰も賴みもせぬ民族自決主義を振り廻はして、弱者の歡心を買ひ、更に這回の大戰を『カイゼル』の罪に歸して、君主國にケチをつけんとするの傾向あるも、軍國主義は必ずしも君主國の附き物ではなく、實際國防の必要以上に海軍の大擴張を行ひ武力を以て世界に勢力を張らんとする北米も亦、軍國主義を奉ずる共和國と云ふべきではあるまいか。

要するに民主々義は獨り共和國の專賣物でないと共に、軍國主義も亦獨り君主國の特產物でないのである、から、如何に北米は民主々義を高潮するも、何も之に附和して騷ぎ廻るには及ぶまへ、世界各國は其の成り立ちこそ異ひ、民を主として政治を行ふことは何れも同樣でなくてはならぬのみならず、斯くせざれば國家の繁榮も、個人の幸福も得て望むべく多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ實に後の孝弟子である。

當時朝廷では、幕府から政權を受取たものゝ、餘りに急遽の事で前途の方針なども、まだ一向に定らぬ、それを憂慮した末、時の參與福岡敬次と、福井藩士の同じ參與三岡八郎（後の子爵由利公正）の二人が、何よりも先づ新政府の施政方針たる國是を定めねばならぬと主張し、二人で矢立を取り出し有り合せの半紙に、福岡は先づ『一、廣く會議を興し萬機を公論に處決すべし』との一項を書くと、三岡は續りに經綸經綸と繰返して居たが、頓て自ら筆を執て前項の次へ『一、上下心を一にして盛に經綸を行ふ可し』と加へた、次に福岡はまた『一、官武一途庶民に至る迄、私えが民本主義ですよと言つの五ケ條を陛下が御簾の前に諸侯に收められたる『政體書艸案』といふ紙に書て一軸の卷物として、錦の囊書は令義解、職原抄、文獻通考、雲命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西洋事情ばかりであつたが、其れを以て大膽にも明治新政府の組織を定めたのだと子爵自ら語られたことである。

（太陽記者）

南記行（五）

紫山

三月十日午前七時廿五分發車、沿線一部の植民地を見つゝ山を下る、涼風車窓に滿ちて心地よさ云はむ方なし、山頂の土地瘠薄なるに反し山麓の平地開拓新しく肥沃にして作物の生育殊の外見事なり、午後四時サンレオポルド町着、ウイルケンスホテルと云ふに泊る、タクワラ町にてサンレオポルド第一の宿と聞きたれば、余はポルトアレグレ町の安宿の冷遇に懲りて行く先き先き良い宿なりと云ふ、安きは結構なれどとても滿足なる寢食は得られそうにもなし、さりとて他を探すは面倒なり、僅よ一泊の事だと室へ通りて見れば二度吃驚開いた口も容易には閉ちらざるなり、一寸茲に說明し置くが此附近一帶殊に獨逸人部落は皆屋根裏天井の上の三角形の處に一室乃至數室を造れり、家の兩ツマに窓を明け屋根裏に天井を張り居れど屋根の形に從ひ一部くの字なりになし居れり、外觀頗る體裁よく硝子窓には窓掛等を見るを普通とするも、僕の此夜の室は此天井裏の而も兩ツマの間の室なりしかば窓は屋根へ向つて一尺角位の硝子窓を有するのみ、壁といはず床も天井もバラナ松板なり、入口の戸を閉ぢれば空氣の通はん道とてはなし、見れば鐵道工夫等の持參して京都に詰めて居る、減多な事を將軍に上申すると、罷り違へば天下の大動亂となるも保し難い、斯うふ歷史的の難局に處して無事に使書に令義解、職原抄、文獻通考、雲命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西洋事情ばかりであつたが、其れを以て大膽にも明治新政府の組織を定めたのだと子爵自ら語られたことである。

（太陽記者）

南記行（五）

紫山

三月十日午前七時廿五分發車、沿線一部の植民地を見つゝ山を下る、涼風車窓に滿ちて心地よさ云はむ方なし、山頂の土地瘠薄なるに反し山麓の平地開拓新しく肥沃にして作物の生育殊の外見事なり、午後四時サンレオポルド町着、ウイルケンスホテルと云ふに泊る、タクワラ町にてサンレオポルド第一の宿と聞きたれば、余はポルトアレグレ町の安宿の冷遇に懲りて行く先き先き良い宿なりと云ふ、安きは結構なれどとても滿足なる寢食は得られそうにもなし、さりとて他を探すは面倒なり、僅よ一泊の事だと室へ通りて見れば二度吃驚開いた口も容易には閉ちらざるなり、一寸茲に說明し置くが此附近一帶殊に獨逸人部落は皆屋根裏天井の上の三角形の處に一室乃至數室を造れり、家の兩ツマに窓を明け屋根裏に天井を張り居れど屋根の形に從ひ一部くの字なりになし居れり、外觀頗る體裁よく硝子窓には窓掛等を見るを普通とするも、僕の此夜の室は此天井裏の而も兩ツマの間の室なりしかば窓は屋根へ向つて一尺角位の硝子窓を有するのみ、壁といはず床も天井もバラナ松板なり、入口の戸を閉ぢれば空氣の通はん道とてはなし、見れば鐵道工夫等の持參して京都に詰めて居る、減多な事を將軍に上申すると、罷り違へば天下の大動亂となるも保し難い、斯うふ歷史的の難局に處して無事に使命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西洋事情ばかりであつたが、其れを以て大膽にも明治新政府の組織を定めたのだと子爵自ら語られたことである。

（太陽記者）

福岡孝弟子

樞密顧問官福岡孝弟子は、頃日囊に去せられたが、子爵の晩年は久しく活動せられなんだ故、國民は多くの注意を拂はぬ樣だが、明治維新の劈頭に於ける子爵の功績は、永久に國民が忘れてはならぬ事が多いのだ、其の第一は將軍德川慶喜公に勸告して政權を返上せしめたこと、第二は五事の御誓文を起艸したこと、第三は帝國憲法最初の艸案たる政體書を起艸したことだ、記者は屢々老子爵に就て當時の事情を聞いて、數回諸雜誌上に書いた事もある。

德川幕府の政權奉還は誰れも知る慶應三年十月十四日で、是が明治維新の幕開きであるが、此の英斷の決行に際し、最も有力な一幕を勸めたものは其の前日、土佐藩士山內容堂の意見書を携へて、二條城に慶喜公を訪ひ內外の政狀を論じて政權の奉還を痛諫した、同藩士福岡藤次、後藤象次郎、神山左多衛、寺村左膳の四人であつた、勿論今時の政權授受とは違ひ、七百年來の封建制度を一朝にして王政の古に復すると云ふ大變革を强制せんとするのであるから此上もない危險な役目であり、同時に又此上もない重い役目であつた、當時將軍麾下の八萬の將卒や恩顧譜代の大名は何れも血眼になつて兵を率ゐて京都に詰めて居る、減多な事を將軍に上申すると、罷り違へば天下の大動亂となるも保し難い、斯うふ歷史的の難局に處して無事に使命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西

は實に後の孝弟子である。

當時朝廷では、幕府から政權を受取たものゝ、餘りに急遽の事で前途の方針なども、まだ一向に定らぬ、それを憂慮した末、時の參與福岡敬次と、福井藩士の同じ參與三岡八郎（後の子爵由利公正）の二人が、何よりも先づ新政府の施政方針たる國是を定めねばならぬと主張し、二人で矢立を取り出し有り合せの半紙に、福岡は先づ『一、廣く會議を興し萬機を公論に處決すべし』との一項を書くと、三岡は續りに經綸經綸と繰返して居たが、頓て自ら筆を執て前項の次へ『一、上下心を一にして盛に經綸を行ふ可し』と加へた、次に福岡はまた『一、官武一途庶民に至る迄、私えが民本主義ですよと言つの五ケ條を陛下が御簾の前に諸侯に收められたる『政體書艸案』といふ紙に書て一軸の卷物として、錦の囊書は令義解、職原抄、文獻通考、雲命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西

次に今でも福岡子爵家には土佐半紙に書て一軸の卷物として、錦の囊に收められたる『政體書艸案』といふがある筈だ、其れは記者が親しく故子爵に聞く所では、矢張り矢立の墨で書たのだ相で、明治元年四月太政官內に制度寮を置かれたとき、子爵は同僚の副島二郎（後の伯爵種臣）と二人で起艸して、上下兩局を設けて政治を議定し施行する案で之が當時を將軍に上申すると、罷り違へば天實行せられ、恰も現今の憲法に類したものだが、其れを書くときの參考書は令義解、職原抄、文獻通考、雲命を完うするを得るやうな機會は滅多に人間に得られない、此の晴れの舞臺に働らいた當時の福岡藤次こそ眞に新政體の參考と爲たものは、西

ともせん術なく寢に就けば、又蚊群珍客を逃がす可らずと考へたるものか群集り來つて大手搦手より肉迫し來り寸時も防禦の手を緩うする能はず一寸もまどろまずして十一日は明けはなれたり。

三月十一日、早朝アザンブーチヤと云ふ何だか佛樣の名の樣な郡長樣を郡役所に訪問す、郡書記を案內に附け呉れて千八百廿四年開設されたる純獨逸人植民地を視察す、時間もなし且つは此地主要農產物たるマンヂヨーカの栽培及製造を主として見たき希望あり、町內にはマツチの大工場の外揉革革製品肉鑵詰製材等の工場あるも皆止めて市外に馬車を驅り農村を巡視せり、住民は殆んど全部獨逸系にして農民の大部は葡語の通ぜざる人々なり、郡書記君曰く歐洲戰爭前は此町にも村にも葡語を話す人なく、偶々道行く人にボンデーヤと挨拶すればグーデンモルゲンと答へる有樣にて伯人の振はざる事夥しく、物の分らぬ百姓共は全然獨逸の植民地と心得、最近迄も祝祭日に獨逸國旗をかつぎ出す有樣で伯國旗を知る者は未だ幾何もあるまいとのこと、然し伯國參戰以來獨逸語を敎ふるなど州政府は全部閉鎖せしめ徵兵を强制する學校は極力獨逸風を驅逐するに勉めて居るので今後は獨逸禍も減ずるだらうとの事、又彼等は何とかして祖國を目標とする戰爭に徵兵となるを避けん爲め、あるに任せて下らぬ金を使つて居るとも聞いた同樣外國人の身として同情に堪えぬ我が物顏を振り廻すも如何なものと思はる、此等は頗るデリカードな問題で徹底的に同化し不同化する何れも故障の起る事は明白である、去りとて曖昧なる態度を持するも考へものなりと人事ならず思つたが急に良い知慧の出そうもないので、歸つてから緩々と考へる事にせんと思つて居る內、馬車は一時間余を走つてヂンメルマンとか云ふ一植民の家に着く。

南リクグランデ州マンヂヨーカの生產額約九萬頓の內此地は一萬七千噸を產し、農產物中主要なる位置を占めて居る、附近一帶牧場ならさればマンヂヨーカ畑と云ふ有樣で、他にミーリヨ、カンナ、バタ、烟草等あるも殆んど目に付かぬ位である、海の大波の如くうねりくねりたる土地には森林は極めて少なく殆んど全部畑地になり居り、放牧場の面積は尤より多いが、他は一の樹株野草さへも見當らぬ位奇麗に耕作されて居る有樣は、も少し家並を密にし、もう少し一筆の面積を小さくすれば、日本の畑所の農村と相異はあるまいと思はれる、一般に淡褐色し深き砂地でマンヂヨーカに最も適せる地質と思はれる、書記君と獨逸系にして農民の大部は葡語の通話しながら家に着けばビール腹の赫顏の主人の外妻君に子女二人破れシヤツに裸足で何か働き最中なりしが喜んで出迎へ呉れたり、主人は葡語を解するも家內にては獨逸語を用ふるらし、何年前に來りしやと問へば廿三年前なりと云ふ、獨逸から來たかと聞きしに、ノー〳〵私の祖母が渡來の船中で父を產みたれば余は純然たる伯人なり、母はと尋ねれば獨逸より來れる女なりと答ふ、僕が獨逸より來たお前は獨逸人だらうと云ひたるが頗る不興氣なり、昔ならば御不興も蒙らざりしなるべきも郡書記を前にして獨逸人と云はれしはチト具合惡かりしなるべし、廿三年前に來て三十町歩の地區を買ひ、漸次買ひ集めて今は百三町歩を所有し地代家屋等にて六十コントスの資本を投じたりと、耕作物はマンヂヨーカを主とするも、ミーリヨ、バタ、セボーラ、アボーボラ等殆んど作らぬものなし、家內四名にて働きマンヂヨーカは每年千袋以上千五百袋の收穫をなすも、去年は一般作物が先づ霜に害せられ次いで旱魃、更にガフアニヨットに襲はれて散々な目に逢ひたれば、平年の半分もなかるべしと云ふ、谷間の細流を樋によりて引き來れる水は水車に導かれマンヂヨーカ、ボルビーリヨ、カンヂーカ等の製造に利用せらるゝを見る。

◆東京便り（三月廿六日）

東京生

日本財界の暗流

◆日本の財界は表面甚だ平靜に似たれども、內部は暗流滔々として漲り大混亂襲來の徵候歷々、俄大盡の末路蕭條たる有樣を暴露せんとするものゝ如し

◆眞僞は保證の限りにあらざれども經濟界消息通の秘話として聞く處に依れば、最近に於ける三井の損害は無量一億八千萬圓乃至二億五千萬圓に及ぶと云ふ、其重なるものは戰爭の容易に終熄せざるべき豫想の下に鐵類、機械類、穀類等莫大の買附をなしたるに、忽然として休戰條約成立し手持品の時價暴落の爲めなりと傳へらる

◆而も三井の戰時中に於ける利益は非常の巨額に達し、恐らく數億圓を下らざるべければ、今回の損失も左したる影響を被らず、精々戰時中の利益金を吐出す位が關の山なるべしとは消息通の觀測一致する處なるも三井程に基礎の鞏固ならざる所謂成金者流に至りては頗る慘憺たるものあり

◆三井に次で日本に於ける最大貿易商と稱せられたる神戸の鈴木商店は取引額の巨大なりし丈けに其損失も著しく、今や三億五千萬圓の債務を負擔し亡滅遠からざるべしとまで傳へらる三億五千萬圓の債務云々は聊か誇大に失するやも知るべからざれども、第一流の銀行が同店に對して嚴重なる警戒を加へて體よく取引を謝絕せるは事實なるが如く、不渡手形出現の說さへなきにあらず、前途は決して樂觀を許さゞるべし

◆船成金として隆々たる聲名を馳せたるものにして終を全うし得べきもの殆んど絕無と稱するを得べく、就中最も悲觀せらるゝものは山本唯三郎、淺野總一郎、內田信也、中村精七郎の諸氏を數ふべく、山本、淺野兩氏は海運造船事業以外に相當の投資あれども、內田、中村兩氏に至りては略ぼ海運專業なりし丈け最も悲觀せられ、今日にありては少なからざるマイナスなるべしと云ふものあり

◆二億圓の資本金を以て組織せんとする日米共同資本の汽船會社創立計畫も實は此等行詰れる海運業者救濟策として案出せられたるものなり、聞く處に依れば、米國は資本と船舶を有すれども、海員を得るに難く、戰後英國の海運業に對抗する必要上日本人と提携の必要を感ずるに至りたりとの說あり、而も日米共同大汽船會社の成立には尙ほ種々なる困難ありとのことにて野田遞相が余に語れる處に依れば遞信當局者も未だ其成立を豫期し居らずとの事なり

衞生欄

高岡醫師

●問　三十四才の男渡伯以來病氣なし、然るに昨年十二月頃より身體次第に衰弱し腹痛を生じ大便と共に極めて小さきウジの如き小虫を出したり、其後再發せず安心しゐたるも本月始めより上記の如く身體衰へ仕事に難儀にて徒步するや呼吸高く食後は咽喉より刺戟して食物を吐き出氣となる今や多忙中なるも一寸の仕事も爲す能はずプラ〳〵遊び甚だ苦痛を感じ居り候へば良藥の調合法御敎示相成度候（無名氏）

○答　これは何れ腸內寄生虫に原因する事と考へらるゝも、そんなに衰弱してからは素人療治では全治六ケ敷いのみならず危險を伴ひますから正式に大便を檢査して貰い、根本的に治療す可きものです。

●問　努めて菜類を食し食後の菓物も缺かさざれども便秘して困ります而かも非常に硬便で三四日位に小量の通じがあります右は可成久敷以前からの容體でありますが療法（灌腸劑の藥名をも）御敎へ下さい（無名氏）

○答　慢性の便秘症、これは色々な原因で現れる、或場合は胃腸に疾患の結果として又は全身狀態つまり一體に强壯でない爲めに腸の運動が不活潑になり從つて糞便の停滯を來す事が多い、多分貴方のも第二の方全身的の影響と思はれる、治療法としても何の効果も無く困り居り候故何卒療法藥劑病名御敎へ下され度候（食慾は變らず大食の方で最も野菜類を好み候便通も宜敷候）（困却生）

○答　慢性腎臟炎の樣です、老人と違つて若い者の此病氣は性質が惡るい、警戒を要するものです、それ故に第一絕對に運動を止め身體を安靜にし食物を一定度に節し（大食は此病氣に惡い）刺戟性食物、例へばビメンタ類、酢きもの、カフエーの飮用を禁じ常に便秘せぬやう注意し藥劑としては Cremor de Tartaro 70 gramma 右散藥一日の分量、三回食前に服用の事、腫れのある間連續服用して差支ない、今後輕快しても二三ケ月間は要心せねばならぬ

◆留め置き郵便物

當地伯刺西爾移民組合の郵便函に入つた郵便物で住所不明廻送不可能の爲め止むを得ず同組合に留め置きある郵便物左の通りであるさうだから心當りの者は同組合へ申出で早速貰ひ受くるが可かるべし）移民組合事務所は左の通りです

Brazil Imin Kumiai
(Caixa Postal, 1082)
S. Paulo

山口縣　藤田早吉
重本松太郎
愛知縣　横井丈太郎
岡本連次郎
藤村房夫
石川縣　松田重正
長崎縣　佐藏宮藏
靜岡縣　原田仙藏
田中新之助
下山正吉
吉嶺善次
安樂住良
秋田縣　大淵勇治
猪野安兵衞
高知縣　上村迫
福井縣　柴田スエノ
福島縣　野內虎治
國分喜代治
岡山縣　岩本介三郎
神野仁右衞門
柏野淺次郎
福岡縣　扇浦祐治
平田與七　淵上幸太郎
久治彌七　石井きりよ
岡野政次郎　綾部友吉
古矢伊太郎　小川善次郎
青木順作　棚町榮作
佐藤ヒサ　中村政次郎
濱地利三　權藤兵吾
廣島縣　原ハナヱ
橋本八郎　熊野周造
中邑量作　槇田鐵太郎
佐々木森男　山下晉右工門
村上安吉　長沼彌三郎
竹本良平　山田幾三郎
沖本登市　土井田好太郎
熊本縣　木屋塲
緒方ツルヱ　小島彦八
園田義治　中野新平
吉崎平　酒井トリ
沖縄縣　森田一次
山內與龜　石平忠松
知念良吉　山城蒲忠
與那覇加那　當山加那
伊計蒲太　金城牛
山內與龜　幸地武太
普天間蒲

椰子之木蔭

東京商業會議所副會頭の山科禮藏氏が來られると云ふので記者も敬意を表すべくルスの停車塲まで出迎えたのは二十八日の朝であつた▲氏に會ふまでは才子風なハイカラな優男だと想像してゐたが實際會つて見ると脊こそ低いが圓るく〳〵と太つた小常陸然たる風采は見るから懷かしみを感せずには居られなかつた▲見たところ酒の一升も桝の角から召し上りさうな體格と血色とであつたから大分左利だなと推測した所が之も當が脫れて日露戰爭以來酒も煙草も止めて居らるゝとは愈々以て恐縮せずにはゐられなかつた▲偉くなる人には矢張偉い所があるもので氏の如きは此の一點から推して見ても意思の力の强い且つ惡習慣と云ふ內敵に打勝つことの出來る拔群の勇者であることが知れる▲今や當地青年の士氣廢れ段々惡習慣の捕虜たらんとする者の有る矢先き氏の如き千練榮達の士來つて一道の篝火を注がるるは萬金にも優る貴しさである。

土地賣却

豫期した如く Heitor Legrú 驛はノロエステ線に於ける同胞發展の中心となりつゝあるは私共の喜とする所であります。我れがちに押し寄せて來る殖民者の爲に今日のノロエステ沿線に殆んど私共の希望する條件に叶ふ土地を得ることが出來ませんのに、獨り吾がエートル、レグルー驛は極く最近迄土人が居住して居つた爲めに其發展を阻害せられ、天與の富源を有りの儘に殘して置かれたのは恰かも私共日東男子の爲めに神樣が供へてくれた樣なものであります。

今回賣り出す土地は「サンパウロ土地材木殖民會社」の所有地で當殖民地と隣接し地質は所謂、パウダリヨ地帶で、其肥沃なるは如何なる穀類の栽培にも適すことを保證致します。衞生の上から云ふても既に五家族の同胞殖民者があるが今日迄一人の病者無きに徵して明白であります、土地の支拂條件は他に比を見ざる程寬大にして殖民者の便宜を計つてゐます。希望者は百聞一見にしかずと申す通り此絕好の機會を逸することなく、當殖民地の實情調査の上御希望の土地を撰定せられんことを望みます。御照會は總て左記宛に願ひます。

イタコロミー殖民事務所

Escriptorio da Fazenda Itacolomy
Estação Heitor Legrú
Linhá Noroeste

美利具比殖民地

◉當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他の全作物に適する肥沃地にしてビリグヒ、アラサツーバの二商業地をさし控へたる絕好殖民地を廉價且つ拂込方法を最も容易にして日本人諸君に提供す

◉當社は千三百家族の各國土地購入者を有し其の中三百家族の現住日本人あり創設以來日尙淺きにも不拘道路四通八達し且つ兒童敎育機關の設備等あり益々同胞の永住的基礎を鞏固にす

◉當社は當地入殖者に限りバウルウ、ビリグヒ間の無賃乘車券を交付す

御用の向きは左記宛御照會ありたし

代理人　宮崎八郎

The San Paulo Land, Lumber & Colonization Co.
(Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo)
Est. Birigüy. Linha Baurú-Itapura (antiga Noroeste)

●日本近信

●十四師團出征

十二師團と交代して西比利亞へ赴くべく編成着手

◇豫後備召集の事なし

曩に田中陸相が議會に於て說明せる如く目下西比利亞の野に嚴寒を冒して過激派討滅の事に從ひつゝある第十二師團の將卒の◇勞を察し　今回之を他の師團と交代するに決したるが其出動部隊は宇都宮第十四師團之に當る事となり既に大命降下四月一日より其編成に着手したるを以て近く出發を見るべし而して右第十四師團の編成に就て世間往々直に動員を聯想し豫後備召集の事を思ふものあるに對し某陸軍當局は言明して曰く『第十二師團が去年八月以來西比利亞に於て善戰奮鬪してゐる功績は內外等しく◇認むる處　で愈々今回第十四師團と交代する事になつたのであるが其十四師團の出征は決して動員を伴はない、從つて今度の編成は全然豫後備兵に對して召集令を發しない、何分廣漠たる西比利亞鐵道沿線の治安維持に任じる上に不良過激派の勢亦侮る可らざる今日であるから勿論相當の兵力を要する次第であるが今回は身體虛弱又は特別の事情あるものゝ他は平時聯隊に在營して居る◇將校以下　即ち現役人員の全部を以て編成し比較的其人員を多くしたのである處がさうなると兵營に殘留して留守隊に於ける諸勤務に從事するものがなくてはならぬ必要が生じて來る、其結果去年十一月一時歸休除隊となつた現役兵の一部を聯隊に呼び還すことにした』云々

●資金借入れの激增

▼利率は最低年八朱

◆資金缺乏　事業界反動期に入り各社收益激減したる外株式激落の結果從來株式の拂込乃至增資を歡迎し居りたる株主連も昨今之を嫌忌する傾向となり好況時代に擴張增資を企てたる各事業會社の工事に近時大に進捗し資金の必要を訴ふるに至りたる如く目下西比利亞の野に嚴寒を冒して過激派討滅の事に從ひつゝある第十二師團の將卒の◇勞を察し　今回之を他の師團と交代するに決したるが其出動部隊は宇都宮第十四師團之に當る事となり既に大命降下四月一日より其編成に着手したるを以て近く出發を見るべし而して右第十四師團の編成に就て世間往々直に動員を聯想し豫後備召集の事を思ふものあるに對し某陸軍當局は言明して曰く『第十二師團が去年八月以來西比利亞に於て善戰奮鬪してゐる功績は內外等しく◇認むる處　で愈々今回第十四師團と交代する事になつたのであるが其十四師團の出征は決して動員を伴はない、從つて今度の編成は全然豫後備兵に對して召集令を發しない、何分廣漠たる西比利亞鐵道沿線の治安維持に任じる上に不良過激派の勢亦侮る可らざる今日であるから勿論相當の兵力を要する次第であるが今回は身體虛弱又は特別の事情あるものゝ他は平時聯隊に在營して居る◇將校以下　即ち現役人員の全部を以て編成し比較的其人員を多くしたのである處がさうなると兵營に殘留して留守隊に於ける諸勤務に從事するものがなくてはならぬ必要が生じて來る、其結果去年十一月一時歸休除隊となつた現役兵の一部を聯隊に呼び還すことにした』云々

債の發行に依り資金の調達を圖るべく計畫しつゝあるも最近に至り社債利率は著るしく昂騰し年七朱額面發行にては一流會社にあらざる限り發行困難となりたるに加へ最近殊に資金の缺乏を訴へ居れるは二流以下の比較的薄弱なる會社大部分を占め居る事にて社債の方法に依る事一層覺束なくなれが調達策としては自然銀行の借入金に依り一時を糊縫せんと際しては商業銀行より低利資金を借する傾向を生じたるものゝ如し

◆借入續出　事業會社が銀行の借入金に仰ぐに就ては工場財團を擔保とする者其の大部分を占め居れるが如く東京方面に於て富士製鋼其他の會社が工場擔保に銀行より資金の借入れに努め居る外ビルブローカー銀行を保證に立て與銀、三十四、農工其他の銀行より借入金を爲したるもの最近に於て大阪電氣製造、松風陶器九州耐火煉瓦、西部合同瓦斯、大和電氣等の諸會社あり此他目下資金の調達を銀行に交涉中のものに至りては枚舉に遑あらざる程にて而かも借入金利子の如き最近に至り著しく昂騰し年利八朱を最低とし前途更に引締るべき模樣あり各種事業界が漸く收益減少の際斯く借入金利率の昂騰は事業家に少からざる苦痛を與へ居るものゝ如しと

●陸軍飛行隊制度改正擴張

陸軍飛行部制度改正令發表せられたり改正令に依れば陸軍飛行部に飛行學校、飛行實驗研究所、飛行技術部等新設せられ各部長として次の如く任命せられたり

飛行學校長　中將　有川　鷹一

實驗研究所長　陸相兼任中將　田中　義一

技術部長　少將　島川文八郎

飛行部長　少將　井上　仁郎

附記—右の特電文曖昧なる箇所あれども大體に於て右の如きものと解釋せらる（四月十七日電）

●朝鮮警備增加

△二個師團に急派命令

陸軍省は朝鮮總督府と打合せの結果更に二個師團を朝鮮へ急派するに決定せりと

●樺太廳長官更迭の旨公表

○○○昌谷彰氏樺太廳長官を辭し永井金次郎氏其後任長官に勅任せられたる旨官報にて發表せられたり

●朝鮮急派軍目的地に到着

朝鮮派遣の命令を受けたる步兵六個大隊及び憲兵四百名は無事釜山に上陸し釜山より夫々目的地に配置されたり

●朝鮮總督移動

△長谷川總督近々辭職

朝鮮總督元帥長谷川好道伯と總督府政務總監山縣伊三郎氏とは朝鮮不穩の責任を負ひて近々辭職するに決定したりと

●東京奠都五十年期日決定

東京市會は奠都五十年記念祝賀會を來る五月七日日比谷公園にて賑々しく擧行するに決定したり

●兩陛下奠都紀念式行幸啓

東京市長は奠都五十年祝賀會開催に就き宮內大臣に宛て陛下の行幸具申をなしたりしが本日聖上陛下には皇后陛下並に東宮殿下と御同列にて奠都記念式に行幸啓あらせらるゝ旨御沙汰ありたり當日市長は兩陛下に賀辭を上つる筈（四月十八日電）

●三井中尉墜死

平塚より歸航の途中八王子在にて突風の襲來

所澤平塚間野外往復飛行第二回に參加したる第八期練習生步兵中尉三井文雄氏（步兵第一聯隊附）はモ式第二十號を操縱し四月一日午前十時十五分所澤を出發十一時平塚に到着し約五十分間休憩の後歸航の途に就きたるが午後零時四十分八王子の南端なる東京府下南多摩郡由井村字北野と片倉との境界なる上空に差蒐りし際突然突風の襲ふ所となり機翼を折られて三百米突の高空より墜落し機は滅茶々々に粉碎し中尉は無慘の即死を遂げたり急報に接し所澤より北川中尉、權守軍醫現場に急行し中尉の屍體を收容すると同時に破壞せる機體を取片附けたり、因に同中尉は昨年十二月一日所澤に入隊し第八期練習將校となりしものにて屍體は同夜所澤なる航空隊に移し僚友打寄りて淋しき通夜をなしたり

▼慘憺たる現場の光景

墜落せるモ式廿號は上翼を飛ばせし事とて急轉直下畑中に墜落し發動機は地中二三尺も沒入し機體は粉碎して光景慘憺たるが中に搭乘者三井中尉は右肋骨三枚を折り右方頭部より耳にかけて打撲傷を負ひ夥しき吐血に塗れて虫の息なりしかば附近通行中なりし農夫及び八王子の醫師林氏等駈付けて手當を加へしも効なく絕命せり八王子署よりは急報により石川署長巡査數名を率ゐて急行し在鄕軍人分會員等亦現場に出張取締に任じたり

▼運動好きの好將校

三井中尉は舊小倉藩士三井恒彥氏の三男にして金澤中學を出で大阪の陸軍幼年學校に入り次で士官學校を出でしが平素着實溫厚にして而も運動好にて飛行機にも多大の趣味を有し將來有望の飛行將校として目され居たり嚴父は現に牛込區河田町九豐前育英會の監督に任じつゝあり

▼侍從武官御差遣

三井中尉慘死の報天聽に達するや天皇陛下には思召に依り侍從武官桑田安三郎氏を所澤へ御差遣相成りたり

▼九號も亦

墜落して今村少尉負傷

又今村少尉はモ式第九號を操縱し平塚より所澤に向け歸航中午後二時頃八王子と厚木の中間橋本に差蒐りし際發動機に故障を生じて墜落し機體を粉碎し少尉も負傷したり

○東京電報（桑港近信）

又持ち上つた

士行君の結婚話

今度の相手は雲井浪子

今年の一月米本國へ戀女房のホームス夫人を或る事情のために歸してからの坪內士行氏は阪神急行電車沿道櫻井の寓居に住み相變らず寶塚少女歌劇の劇作を擔當してゐるがその頃からチヨイ〳〵噂のあつた歌劇第一期の卒業生で今に人氣を脊負つてゐる雲井浪子（一九）との結婚問題が櫻咲く今日頃日になつて又も再燃した、坪內君は『マサカ』と笑つて見せたがでも『否』といふ迄の强い否定もせず『あれ（ホームス夫人）もかへしたし言はば一段落……でもまだ

◆離婚と迄　は行つてませぬが……兎に角今の私は係累はなし一等氣樂な身體ですからそんな噂もあるのでせう、噂の種ともいふのは私がこちらへ來るなり雲井の態度なり樣子なりに非常な望みを屬してこれは一かどの女優にしてやりたいと思つたそこへ小林（阪急の專務取締）さんもどうかこゝ一二年間ミッシリ彼女に劇の呼吸も智識も親身になつて敎へてやつてくれ內弟子と迄は行かないでもこゝで將來やる劇の一座の中へ雲井初め二三の歌劇少女の或者を入れたいから……との事でもあり私も特別に或場合には妹の樣な心持で敎へてゐる處からそんな噂が出たのでありませう

『イグアペ』植民地

●當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖上必要なる組織を有す
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に從事することを得
●當植民地には資力乏しき者にても自作農業爲し得る方法あり

『イグアペ』植民地視察者の爲め『サントス』より植民地本部『レヂストロ』に到る道案內
●汽車の『サントス』發は每週月曜日水曜日（午前九時二十分）土曜日（此日だけ午前七時）にして其『ジュキア』着は午後四時
●此間の貳等運賃は十鈎百レースなり
●『ジュキア』には停車場近くに小旅店二軒あり。宿料參鈎內外なるが投宿の際取極め置く方宜し。
●翌朝汽船又はガゾリンランシヤにて『ジュキア』を立てば當日『レヂストロ』に到着すべし
●此間運賃參鈎なり

來り理想鄕を作れ

在東京伯國公使館員　大武和三郎氏著

●葡和辭書　寸珍版美本六百四十四頁

實價　七ミル五百レース

送料（郵便書留送付は五百レース　鐵道便送付は一ミルレース）

右伯語研究會の依托に據り實價を以て販賣す御入用の方は代金に郵稅を添へ申込あれ、發送は着金順と定む

◎イグアペ植民地本部
◎リベイロン附近はリベイロン時報支社
Caixa Postal, 290 Ribeirão Preto.

へ便宜申込ありたし

取次所　伯刺西爾時報社營業部
Noticias do Brazil
Caixa Postal, H
São Paulo

新智識

大戰に現はれた新兵器

（一）タンク

今次の歐洲大戰では殆ど人智の有り丈けを搾り盡して兵器の發明を遣つたのであるが其の中にも『タンク』と稱くる兵器は却々効果を奏したもので今ま之に關し陸軍歩兵少佐吉富庄祐氏の『戰友』に寄する處に據れば左の如し。である

『這回の大戰で使用された『タンク』と言ふ怪物は、既に新聞なぞで紹介されてあるが如く、機關銃又は小口徑の火砲を自働車に裝置し、其全體を鋼鐵で圍らし、敵の小銃彈の如きは敢て意とせず、敵陣地前の鐵條網であらうが塹壕であらうが更に頓着せず打ち壞はして活動する愉快な奴である、元來此怪物は英國で作られて、英軍が佛蘭西戰場に使用し、大効果のあつた以來、佛軍も獨軍も之に倣つて作つたのである、餘談ではあるが『タンク』とは英語で槽と云ふ字であつて、恰も形が水か石油かを容れて運搬するものに似て居るからである（日本の列車に石油を運ぶ圓筒形の槽を吾人は普通『タンク』と稱して居る）併し何故英國で此怪物を『タンク』槽と命名したかと言ふに初めて英國で之を作りいざ戰場に持ち出さうと言ふ時、敵國の間諜や又は廣く其怪物であることを知らせまいと言ふ考で、形の似て居る處より之を『タンク』と命名し、戰場で水の運搬に用ゆるものと言ひふらしたのであゝ、此新兵器は前にも一寸述べた如く堅固なる陣地の攻擊には缺くべからざるものとせられ、天然人工の有ゆる障碍物は大抵のものは排除して前進し、先づ突擊部隊の進路を開き次で不意に敵の砲兵又は機關銃の如きものを打ち破るのである、然し裝甲の厚さは八密米前後であるから、野砲の全彈を被むると無能に歸するから此『タンク』は急襲を主義として、敵の砲兵の發見した時には、希望する仕事を爲し遂げる如く使用せらるゝものである、最近に於ては『タンク』から黑煙を放射して自己の所在を暗ますこと、恰ち烏賊や蛸が黑汁を出して自衛をするのと同じ裝置をしたのもある、又毒瓦斯を放射して近所四邊の敵を惱ます裝置をなしたのもある、而して其大さは種々あるが、現在あるものは重さが八千貫以下で、長さは三、四間高さ七、八尺巾が一間乃至一間半の大さであつて、速度は割合に遲く、一時間一里乃至四里である、昨年十月我陸軍が英國より購入した一つの『タンク』は單に機關銃のみが備へつけてあるのであるが、是から各國陸軍は何れも爭つて此の一怪物たる『タンク』を研究し、若し世界の何處かに次の大戰がある場合は、更に進歩したものとして現はるゝであらう』

盜みさゝ

帆影

大黑頭巾のやうな流行の帽子を阿彌陀にかぶつて、かゝとの高い白靴短い裙のさばきも輕く、小形銀製手提袋、フックリした腕に腕輪が光る聲高に笑ひ興じて散歩の若い娘三人罪とは知りつ……。

『M子さん、貴女先週のトライアングル會へいらしつて……？』

『いゝえ、フォックスフィルムを見に行つちまつたの』

『よかつて……？』

『思つたより……實生活に觸れた或るものがあつたわ、トライアングルはどうだつて……？』

『期待が大きかつたゞけに失望しちやつたわ、然しどう云ふものかトライアングルは隋氣滿々と云つたかたの有ゆる障碍物は大抵のものは排除して前進し、先づ突擊部隊の進路を開き次で不意に敵の砲兵又は機關銃の如きものを打ち破るのである、然し裝甲の厚さは八密米前後であるから、野砲の全彈を被むると無能に歸するから此『タンク』は急襲を主義として、敵の砲兵の發見した時には、希望する仕事を爲し遂げる如く使用せらるゝものである、最近に於ては『タンク』から黑煙を放射して自己の所在を暗ますこと、恰ち烏賊や蛸が黑汁を出して自衛をするのと同じ裝置をしたのもある、又毒瓦斯を放射して近所四邊の敵を惱ます裝置をなしたのもある、而して其大さは種々あるが、現在あるものは重さが八千貫以下で、長さは三、四間高さ七、八尺巾が一間乃至一間半の大さであつて、速度は割合に遲く、一時間一里乃至四里である、昨年十月我陸軍が英國より購入した一つの『タンク』は單に機關銃のみが備へつけてあるのであるが、是から各國陸軍は何れも爭つて此の一怪物たる『タンク』を研究し、若し世界の何處かに次の大戰がある場合は、更に進歩したものとして現はるゝであらう』

『だけどこともすると見得を切りすぎる癖のあるのが嫌味ちやないこと。』

『全くね、でもあの『巨人の下手人』ジョアン』や『主の勝利』なんぞ近來の傑作だわ、尤もジョアンの方はフォックス社にゐた時分のだけど。』

『フォックス社では此の人を失つたけど、代りにトム、ミックスが權威ある藝を見せてくれるわ。』

『ウヰリアムとトムどつちがうまいでせうね。』

『トムの方が愛嬌があるから、人氣があるかも知れないわね。』

『然しどつちにもいゝ所があるわ、そして二人の藝の行きかたの違つてるところが面白いわ、鳥渡日本の役者にしたらウヰリアムは吉右衛門でトムは菊五郎てつた調子だと思ふわ。』

『トライアングルもフォックスもこの二人を主人公にして撮つた寫眞は筋も場面もよく似てゐるのね。』

『だからあんまり二人を働かせすぎると、しまいには飽きられてしまうわ。』

『子役では今のところヴイルジニアの獨天下ね、フォックス社にゐたけど今も居るかしら。』

『どにかく天才だわ、生まれて十一ケ月目にもうよくお話をしたり、三才時分には大概の歌はきゝ覺えでうたつたつて云ふんですもの、私はこの子が何を演た時だつたか、今よく思ひ出せないけど、非道く泣かされちやつた事があるわ。』

『女優のドロテイ、ダルトンは容色も、體格も申分のない美人だわね。』

『藝にはそれを鼻にかけて、日本の帝劇の村田嘉久子つてな所があるわ。』

『以前フォックスにゐた、グラディブロックウエルは近頃トライアングルへ入つたのね、ウヰリアムと撮つた『心の戰ひ』には、『母の罪』時分より、グット頬へ肉がついて來たわね。』

『カルメンやゼラルデイチやクラアラ、それからアリセなんぞ何れも劣らぬ名女優だけど、しじゆう動いてゐるのね、ドロテイのやうにトライアングルに落ち着いてゐるのは少いわ。』

『無邪氣な女優に、ヴイヴイアンのあるのを忘れられないわ。』

『トライアングルで撮つた『東洋の戀』の日本女優を御覽になつて？』

『あゝ青木鶴子たしか三四年前にシチス社の『天の怒—櫻島噴火』でも見たと思つてますが、所作も表情も日本の活動女優としたら、かなり自然に芝居氣なしに演てゐるけど、西洋人の中へ交つてると、身長の小さいのがどうもしかたがないわれね。』

『滑稽物のいゝのがありませんわね。』

『一體に滑稽物は好かれない傾があるやうですね、マックスやヴイゴリイリョはどつかへ雲隱れしちやつたわ。』

『人氣が落ちたと云へば、警察ものがすつかり下火になつたぢやありませんか。』

『筋が型にはまつたのと、世論のやかましいからでせう、矢張生命のあるのは、實際社會問題に觸れた戀愛劇や、悲劇で、然し全くの悲劇より勸善懲惡の目出度し〳〵で幕になるのが喜ばれるのは人情でせう、と共に低級なそして如何はしい場面の歡迎されるのはどう云ふものでせう、いくら衆盲の人氣を集めたいからと云つて、道德破壞さまで突き込んではね、トライアングルの『人獸』の或る場面なんぞ、目を覆はなければならないやうな所があるんですもの、而も畫興行の少年少女の前にまで見せるなんて、經營者の良心を疑はずには居られませんわね。』

『だつて芝居や——活動寫眞は修身の教課書ぢやありませんもの。』

『それはさうだけど、社會生活に影響するところが大きいわ。』

『もしこれが現代實社會の反映だとすると、何だか嫌になるわね。』

『どにかく今はアメリカ物の全盛でゴーモン、パテー、エクレア、シチスなんどの古いものが、すつかり沈默してしまつたぢやありませんか。』

『戰爭と時代思潮の爲めに……』

『古い社の寫眞が、フォックスやトライアングルの撮法を大分眞似てゐますね、近頃パラモントやブラディのフイルムなんぞが賣り出して來たけど、先づ今のところ人氣の兩大關はフォックスとトライアングルでせうね。』

『でも先だつてのパラー社の『巖窟王』は、八卷續き物で、フイルムを惜し氣なく撮つただけに、たしかに傑作でしたわ、さすが古い社だけに敷に、毎ばん大せいの家來をわつめて戰爭の物語りをしたり、軍の本を讀んで聞かせたりしてゐました。

『活動寫眞の忘れられる時があるでせうか。』

『さあ……ます〳〵發展こそすれ、近い將來にそんな時が來やうとは思ひもよりませんね。』

『トライアングルの人氣を取つた一つに、マークの作者バスコ、アブレオを忘れる事は出來ませんわね、此のマークがどんなに寫眞を引き立てたり、平凡化したりするか知れません、恰度日本の活動界で、說明辯士が上手だと、寫眞が一段面白味を增さられるやうに、マークがいゝと寫眞が生きますわ、ところがどうしたものか『心の戰』には此の人のマークでなく、平凡なマークがついてゐたので、寫眞はそれほど惡くはなかつたけど、いつものやうな印象を與へられず、馬鹿に平凡なものになつてしまつたぢやありませんか、私はバスコの一句〳〵に味のある、マークを讀むのが大好なの……』

『……時にS子さん、お菓子はいつ御馳走になれるの？』

『なんの……？』

『まあとぼけてゐらしやつしやるわ……御婚禮のよ。』

『あゝ……來月……。』

『お目出度う、メウスバラベンスだわ……。』

『あ、有り難う……まあ非常く握つて……』

『ホ、、、その表情がグラディスよろしくだわ、惜むらくはTさんの居ない事を……ホ、、、。』

『まあ……ホ、、、。』

『……』

狸の婚禮とお姫さまの手

（上）

（阿波國德島の傳說）

むかし〳〵大さう强いおさむらひがありました、このお武士は戰爭のお話しが一番好きでして、廣いお屋敷に、毎ばん大せいの家來をわつめて戰爭の物語りをしたり、軍の本を讀んで聞かせたりしてゐました。

お屋敷の中に、何百年ども知れぬ昔から一匹の狸が住んでゐました、

『どれ、どんなことを話してゐるか聞いてやろ』と狸は早速、年寄りの坊さんに化けまして、緣の下から緣側に飛んで上りましたそして障子の側にチョンと座り込みました。

狸はクフ、ンと鼻を鳴らして、可笑しさに噴き出しました『人間といふ奴は何んてづう〳〵しいものだらう、何百年も昔の話しを、丸で見て來たやうにうそばかり話してゐるわい』と思はず知らず申しました。

話の最中、狸に笑はれたので、ご主人は元より、ズラリと並んで感心して聞いてゐた大せいの家來も、皆びつくりしました『誰れぢや、何ものぢや、わしの話しを笑ふ奴は』とご主人が眞赤になつて、怒鳴りますと、先生のお話しを、惡口いふ太い奴、ソレ引捉まへて引ずり出せ』と家來どもが青筋たてゝ立ち上ました

逃げそこなつた狸は、年寄の坊さんに化けた姿のまゝ、ご主人の前へ引つぱり出されました『お武士をつかまへて、うそ吐き呼ばはりは許しがたい、皆さん方、丁度さいはひ、腹も減つてゐるので、たぬき汁にして食べやうぢやありませんか』と亂暴な家來どもが申しました。

たぬき汁にされては堪ませぬから狸はペコ〳〵とお辭儀して詫つた上『では笑つたお詫びに、二つの不思議を見せてあげませう』『それは美しい〳〵お姫さまと手を引き合ふこと』『たぬきの婚禮を見せてあげること』なのです』と申しました。

◆新荷到着

命の母、實母散、中將湯、清婦湯、豐血湯、さふらん湯、人壽湯、疝積湯、以上血の道一切ふり出し藥　服一ミル二百五服送料六百レース、子宮差入藥、壹箱參ミル、月さらゑ、新月丸、每月丸、一週分六ミル、清心丹、仁丹、ゼム、清快丸、以上一袋一ミル、寶丹、萬金丹、大鑵二ミル千金丹八枚入三ミル五百、清神丸一角丸、奇應丸、救命丸、以上小兒虫一切及び熱さまし一ミル二百、五龍圓大鑵三ミル、セメンエン、セメンエン菓子、以上虫下し一袋一ミル二百、ジケスチン、タカジアスターゼ一個三ミル五百、太田胃散大二ミル四百小一ミル二百、ビットル散一ミル八百、膃胃散一ミル二百、コロダエン、熊の膽丸、腸痛止め一個貳ミル四百、アンチヘブリン散、百中散、キナビリン、以上熱サマシ一袋一ミル二百、大學目藥、回春目藥、トラホーム水一ビン一ミル二百、淺田飴大鑵三ミル六百、玉霜散、イセリン、タムシン皮膚病藥、ホーサン軟膏指藥大貝一ミル二百、貴眞膏、萬金膏藥一個四百レース、ヤケド藥一ミル四百、毛生液、ケハエ藥大ビン四ミル五百、毛生液、一名健腦丸一個二ミル四百、下痢止め一ミル二百、毒掃丸、梅毒、胎毒下し大袋四ミル、水銀軟膏一ミル二百、痔妙丸、痔退丸、ジノ藥一ミル二百、次亞燐大ビン五ミル、克快丸、變質丸、以上リウマチス藥五日分三ミル、脚氣專門藥二ミル五百、虫齒口中のタヾレ藥一ミルリン病藥、各種薄荷油、一ビン三ミル五百、耳鼻藥一ミル二百、モグサセンブリ、センブリノ粉一袋一ミルサフラン其他各種類十ミルの御注文に對し送料一ミルレース宛　御一報次第目錄送呈

◆大根之部

平莖豐玉大根〇改良丸尻宮重〇改良宮重長大〇練馬丸尻大根〇同大長大根〇練馬秋マツリ大根〇黃二十日大根〇守口大根〇方領大根〇晩生櫻島大根〇以上一合二ミル五百宛

各地に取次所募集す

◆御注文は總て前金に限る

ブラジル時報市內申込所

聖市コンデ　サルゼーダス街五一番

木藤商會

大澤醬油取次所 KIDO SHOKAI

Caixa Postal 1466

R. C.Sarzedas 51

S. Paulo

◎各國電報

◆英米佛伊中米南米に活躍せん

英米兩國が戰後策として中米及び南米に活躍を試みんとするの計畫は當市の當局者及び有力なる實業家の意見に徵し愈々之が明白となりたり、即ち英米は南米に於ける戰前の商業關係を復活せしめ更らに伯剌西爾、亞兒然丁、智利其他南米諸共和國の市場に飛躍せんとして着々其の準備を進行せしめつゝありて平和條約調印後直ちに經濟戰に火花を散らさんとす、英國の輸入制限令廢止は正に來らんとする平和戰に對する最後の準備たるべし、南米大陸の諸國は孰れも自國の製產品を購求する國とのみ商取引をなさんとの意嚮を表示したれば輸入制限令の繼續は南米諸國に於ける英國商業發展の障阻となるべし、佛、伊も亦既に輸入制限令の數項を廢除し且つ英國輸入稅に伍せんが爲め本週中に輸入稅率の低減をなし南米商品の輸入に務めんとすと（華聖頓發廿五日電）

◆獨逸の抗議書

巴里來電に據れば獨逸の講和條約抗議書は本日火曜日脫稿せしを以て獨逸講和大使ブロクドロッフ、ランツアウ伯は明日四大强國會に交付すべし（紐育發廿七日電）

◆墺地利に講和條約文交付

墺地利との講和條約文は愈々來る金曜日正午サン、ジルマンなる講和會議場に於て墺地利委員に手渡さるべしと本日發表ありたり（巴里發廿七日電）

◆露國コルチャック政府と其公認

本日の四大强國會議はコルチャック大將が主宰する露國政府に對し日本政府と妥協の上公認をなすべく其の條件を研究せり（巴里發廿六日電）

◆墺在利の軍備制限

諸新聞の報ずる處によれば墺地利の軍備は單に陸軍二個師團に減少され海軍は全く廢止せらるべしといふ（巴里發廿九日電）

◎雜報

●伯國講和大使到 處大歡迎

伯國講和大使として歐洲に活動せる被任大統領エピタシオ、ペソーア氏は到る處に歡喜の聲を以て迎えられ曩に白耳義皇室の正客となり伊太利皇室の貴賓として最上の待遇を受け今又葡萄牙を往訪せんとするの矢先き英國皇帝より英國來遊の案內に接したるか氏は右を果して後北米をも訪問せんとて去る廿六日當國外務大臣ドミツシオ、ダ、ガマ氏に左の電報を寄せられたりと

英國皇帝は特に余に尊敬を表示せんとし來る六月三日英皇帝降誕日を機とし英國訪問を勸誘せられたり、余は六月八日葡萄牙政府訪問を約したるを以て先約を履行せんが爲め英皇帝は英國軍艦にて余をリスボンに到らしめんとす、同地に於て更らに佛國軍艦ジャンダルク號に轉乘し北米に渡行すべき豫定にて佛國政府と交涉繰りたり

●山科氏一行來聖

▲休戰中の歐洲を視察しての歸り途▼

是まで屢々報道せる東京商業會議所副會頭山科禮藏氏は寺田晴吉郎、吉田彦作の兩氏を隨へ一昨廿八日午前八時五十分當市ルス停車場に安着松村總領事を始め田口、狩谷、熊坂、黑石、高岡、翁長の諸氏に迎へられホテル、ロチツセリに投宿せられたるが不取敢敬意を表すべく往訪の記者に對し氏の語れる處に依れば

▲『私（山科氏）は昨年十月に日本を出發し太平洋を越へて桑港に上陸しまして以來米國の主なる都市を段々と視察して居る中に俄かに休戰條約締結と云ふことになりましたので南部の二三都市を殘して紐育に出で適ま講和使節として渡歐の牧野男一行と此の地で出會ました爲め茲に旅程一變南米行きを延期しまして同一行と共に佛蘭西へ渡つたのでありまして歐洲へ參りましてからも殆ど歐洲の大都市を廻つて大戰後の狀態を視察しましたが實に其の慘澹たる光景には一驚を喫しました又巴里には大分長く滯在しましたが今は世界中の人々が集まつてゐるのでありますから其の雜踏は言語に絕するの有樣で殊に宿屋と云ふ宿屋は何處も一ぱいで寢る所には隨分不由自をいたしました

▲伯剌西爾へ來るには英國へ廻つて便船を求めましたが伯國はモツト暑い處かと思ひましたら實に良い氣候ですね、其れに人氣は穩かだし周圍の壓迫はなし日本の金持なぞも斯う云ふ所へ移つて理想鄉でも造つたら人生の樂みと云ふことでせうね』と、眞に伯國の風土が氣に入つたらしい口吻を洩された

歸國者の福音

◆『さぬき丸』は三等客を乘せて日本に行く◆

同胞の歸國者にして便船の少ない所から歸國できずに困つてゐる人々の爲めに深き同情を有する伯剌西爾移民組合の狩谷氏は今回『さぬき丸』の入港を機會に三等客便乘の儀を船長に懇談したるの結果船長もいと夫を氣の毒に思ひ或る數を限つて乘船を承諾したのことであるから歸國待兼の人々には勿怪もない幸ひと云ふべきである

▲猶ほ聞く所に依れば『さぬき丸』は去る廿二日サントス出帆リオ港經由目下ブエノス、アイレスに入港碇泊の由なるも來る六月中旬には荷物の積、卸を終へ二十日頃リオ港へ引返へし同港にて三等客を乘船せしめたる上日本へ向け出帆するさうであるから乘船希望者は今の中伯剌西爾移民組合支部へ宛乘船の申込を爲し置くが可かるべし委細は移民組合へ問ひ合せば明瞭するとのこと

●日米戰爭除幕夢物語

去る廿四日佛紙ル、ジョルナルが廿三日紐育電報として記載せし所によれば最近支那及び朝鮮に於て日米衝突せしより萬一を慮ばかり北米は太平洋艦隊に武裝を命じ又非律賓群島布哇及びパナマ運河守備軍並に支那駐劄軍の增員を圖かる爲め一萬人の動員令を下したりといふ嘘八百の本家本元此の位の揑造は朝茶前の事、御し難きは女子と小人とは昔人の云ひし通りなり

休戰中の歐洲を視て來た ▲山科氏の講演會

◆場所は總領事館事務所◆時日は卅一日午後八時◆

別項記載の如く東京商業會議所副會頭の山科禮藏氏は目下休戰中の歐洲諸國を親しく視察して歸朝の途次當地に立寄られたれば其の機會を幸ひに同氏より大戰休止後の歐洲の狀態と、講和會議の內幕とを聽かんとして當地日本人青年會より此の事を同氏にまで願ひ出でたるに同氏亦快く承諾せられたるに依り愈々

明卅一日（土曜）午後八時より帝國總領事館（事務所）に於て山科禮藏氏の講演會を催ふすことゝなりし由なれば同胞互ひに友人を誘ひあい成るべく多く來聽ありたしと

は青年會側の希望なり猶ほ講演會場として今回特にラルゴダセーの總領事館を拜借したるは廣き會場を備へて多くの來聽者に滿足を與へんとの主意に外ならざる由なれば決して遠慮なく出掛らるゝが可かるべし

●頓珍漢なウ井ルソン大統領の演說

（世界平和を舁ぎ出し例の十四ケ條の御題目を並べ立て戰捷に醉える歐洲人を煙に卷き、組し易しと高を括つて世界の大統領を氣取る彼のウ井ルソンは獨り得意滿面の體にて頻りにメートルを上げゐたるが水銀の力には限りあるものと見へ遂に脫線したとは笑止千萬であると云ふことは先日當國講和大使エピタシオ、ペソーア氏の歡迎晩餐會で一場の演說を試み北米の尊大振を發揮して『マカコ』を驚かさんと密かし計畫よろしくあつて席上に起つたまではよかつたが當日の主賓はエピタシオ氏であるから順序から云へば主賓に對する禮として歡迎の意を述るか又は伯剌西爾に就ての讃辭を呈すべき筈であるのに『現代の世界大政治家』のウ井ルソンは之れを記憶するには餘りに尊大であつたと見へ場所もあらうにウードロー、ウ井ルソン先生先づ北米の難有味を紹介すると共に自身の偉さ加減を堂々說き立てたとは何んたる狂態ゾ、彼の言ふ處に據れば『亞米利加を發見したるはウ井ルソンである、世界に血の大洪水を起さしめたるもウ井ルソン自身である、而して北米が反對せずんば全世界に火を放つもウ井ルソンであらう乃ち世界の死活を握るはウ井ルソンである』とは何んたる嘆言ぞ、ウ井ルソンの說教には伯剌西爾のブの字も挿ますエピタシオ氏のエの字をも用ゐなかつた、這麼出鱈目は倫敦とか又は古耳古邊りの病院棟上式乃至は水電艇の進水式になすべき演說であらう、エピタシオ氏が之れに對し答辭を呈するとせば何んと云ひ得るか若し三鞭酒を手にして稱讃する者ありとせばそはペルシヤの王又は交趾支那の大臣位なるべしとリオのインバルシヤル紙は諧嘘を弄し居るが一寸皮肉で面白い

●鎌倉丸長崎出帆

……移殖民を乘せて伯國へ……

昨日伯剌西爾移民組合伯國支部宛入電に據れば日本郵船會社の『かまくら丸』は輸送監督松田氏外

移民　三百九十二名（九十一家族）
殖民　二百十二名（四十五家族）
呼寄　十九名
計　六百二十三名

を搭載し五月二十七日長崎港出帆サントスに向ひたりと

●北澤氏出發は次週

安部幸兵衛商店南米出張員として伯國に滯在中日伯貿易の爲めに種々劃策する所ありたる北澤平藏氏は來月四日の便船にてサントスよりブエノスに渡り再びアンデスを越へて裏南米に出で巴奈馬經由歸朝の途に就かるゝ由

●佐久間氏歸店　前週來聖ホテル、ロチツセリに投宿せられたるリオ市藤崎商店の佐久間重吉氏は所用を終へ去る廿八日夜行列車にて歸店

●坂元氏歸河　在リベロン伯剌西爾移民組合出張所の坂元靖氏は去る廿五日歸河

●江越氏出聖　海外興業會社アニウマス事業地詰め江越農學士昨日出聖

◆皆さんのお手許へ差上た製劑表の通り卅餘種の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

◆星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なること皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

◆着荷の量が少ないから品切れにならぬ內御注文を願ひます

發送は前金御申込順と御承知を乞ふ

◎星製藥會社の星印藥が來た

特約販賣店

日本貿易會社
サンパウロ出張所

Nippon Boyeki Kaisha
(Caixa Postal, 1714) São Paulo

尋人

千葉縣　青木哲太郎
同　今井貢
廣島縣　掛谷辨次
高知縣　中島關馬

右四名の住所至急屆出られ度候也

大正八年五月卅日
在サンパウロ
帝國總領事館

尋人

福島縣双葉郡浪江町　佐藤善助（東洋第四回移民）

右者の現住所御承知の方は何卒左記へ御一場被下度候

カーザ日本
吉用政之進
Rua Consolação, 42
São Paulo

●ガルサ殖民地

本年度より續々入殖者あり御一報次第明細書を送呈す

委細は左記へ御照會あれ

代理人　矢崎節夫
Villa Costina L. Mogyana

コスチーナ土地殖民會社
Dr. Laubicno da Costa Machado
R. Barão Itapetininga, 13A
S. Paulo

米作家族募集

歩合作カナアン及ポルト兩米作地

一、當米作地中土地の肥沃なる地區を適宜小作人家族に配分し機械の運轉可能の田地には耕主側にて耕転し播種して後小作人に引き渡すものとす

一、耕主は小作人に食費を貸與す

一、籾種は初年度耕主より全部給與し次年度より小作人の要する半量を給與す

一、稻及籾の運般は耕主の負擔とす

一、耕主は小作人の稻を機械にて脫穀し小作人は之に對し一袋僅か五百『レイス』を耕主に支拂ふ

一、一歩合は五分、五分にして即ち小作人は收穫米の半分を耕主に納むるものなり

一、『サツコ』袋は耕主側の負擔とす

一、耕主は小作人に對して十分の余作地を與ふ

一、耕主は小作人に家屋を建て與ふ

一、耕主は專營の米作地より小作人は日給仕事を受くる便あり

一、入耕期は本年十月下旬最も良し猶委細は左記に問合はせられ度く近き所に住む人は直接一度視察せらるゝが宜しかるべし

主任　齋藤武雄

手紙の宛名　SAITO TAKEO
Fazenda Santa Eudoxia
Estação Alfredo Ellis
Linha Paulista

會員諸君へ

今回『さぬき丸』にて來伯されたる新會員の配耕地各停車場名左記の如く候

福島縣耶麼郡岩月村大字大都字前田　飯島武次
同　佐藤源次

Fazenda Palmeira
Estação Taquaritinga
L. Norte de S. Paulo

大正八年五月二十七日
福島縣人會
Caixa Postal, 1317 São Paulo

樹

南

靜かにも淋しく暗き水の色見つむる程に頭重たし。

何ものゝ鳴くとも知らず木精して森に慶ろがるくしき音かな。

憂鬱の吾影落す黑き水廣ろ〳〵として果てもなきかな（アマゾナスにて）

30 de Maio de 1919 No. 90

Noticias do Brazil

大正八年五月三十日　金曜日　第九十號

第三十四席　長兵衛平内の爲に道場を開く事

沈着き拂つた言葉の樣子は何樣一癖ありさうな人物、平内は先刻より此男の腕前も力量も膽力も三拍手揃つた働きに感じ入り　平『ハハッ、長兵衛殿と仰せられるか夫れは〳〵初めて御面會を仕る、シテ某が赤城無敵齋を打懲したことを何うして御存じあらせらるゝや』と言へば、長兵衛は　長『イヤ、其の御不審は御尤もでげすが此處ではお話も出來ませぬ、此の直き近所に俺の家といふ譯でもねえがマア俺の家みてえなものがございますから、夫までお出でなすつてお呉んなせえ、其處へ往つて悠然お話も承はりませうし、又茶でも差上げやす』と言ひながら先きに立つて歩き出した、平内長守も折角の親切、其の志を無にするでもございせんから　平『夫れ程までに仰せ下さる其のお言葉、暫時御厄介に相成りませう』と跡に續いて大名小路の方へ一二丁參りますと跡の方より人數凡そ五七十人、提灯振り照らしてワーワッワッと云つて追駈け來る樣子、平内後方を振り返り　平『長兵衛殿、又しても懲りずまに曲者が追つて參つた、イデ今度こそは一人も殘らず撫斬りだッ』とハッタと睨んだ其所へ追付いた右の人數、眞先に立つた一人が『オヽ桑氏、御無事でござつたかな、アヽー、ヤレ〳〵安心を仕つた、シテお怪我はござらぬかな』、

『イヤ是れは平松氏、能うお出で下された、此の通り擦過傷一つ負はず無事でござる、偖て御貴殿は什麼して此處へ……』慶『ハイ、實は駕籠屋共が逃け歸つての注進に由り即刻門人共を召連れて駈け付けました次第、先づ〳〵御無事で祝着至極、最早曲者はお討果しなされたか』平『左樣、甚だ殘念ながら是々云々……』と突に旗本水野近藤其他加擔の一條から長兵衛に危きを助けられた事共を揉要んで物語り　平『此の方が長兵衛殿でござる』と紹介した、慶三郎は進み出で　慶『是れは〳〵豫て音に聞く幡隨院の長兵衛親分、今晩は偉い御恩になりました、拙者は平河町に道場を構へて居る平松慶三郎、此のお方は拙者に取つては大切なお仁厚く御禮を申上げる』長『どうも御丁寧な其のお言葉、實は斯うでございやす、先刻小哥の乾兒の聞いて來た話しに今日天下無敵と威張つて居る赤城無敵齋の道場を破つたお武家が居る所を見ましたが大層なもんでしたア氣味の好い話だと實は喜んで居りましたのでとは知らず通り掛つた櫻田門、大勢の奴が僅た一人を取圍んで卑怯な振舞、要らざる腕立てとは存じましたが鳥渡ばかり言葉の御助勢を致しやした、其のお方が平内樣とは此奴ア能く〳〵御緣のあることゝ今考へて居たんでございやす、此の平内樣こそ天下無敵、ック〴〵感心いたしました』慶『フムー左樣でござつたか、夫れは〳〵御苦勞千萬、水野十郎左衛門、近藤登之助まで加へ五七十人、提灯振り照らしてワーワッワッと云つて追駈け來る樣子、平内後方を振り返り　平『長兵衛殿、又しても懲りずまに曲者が追つて參つた、イデ今度こそは一人も殘らず撫斬りだッ』とハッタと睨んだ其所へ追付いた右の人數、眞先に立つた一人が『オヽ桑氏、御無事でござつたかな、アヽー、ヤレ〳〵安心を仕つた、シテお怪我はござらぬかな』、

『イヤ是れは平松氏、能うお出で下された、此の通り擦過傷一つ負はず無事でござる、偖て御貴殿は什麼して此處へ……』慶『ハイ、實は駕籠屋共が逃け歸つての注進に由り即刻門人共を召連れて駈け付けました次第、先づ〳〵御無事で祝着至極、最早曲者はお討果しなされたか』平『左樣、甚だ殘念ながら是々云々……』

上げますから切望お願しなすつて下樣え、然う御丁寧のお言葉ぢや恐れ入ります、是りやア女房ぢやあねえ人の着物では書になつてのお歩きはので早く申せば妾でございやす……だが旦那え貴方は今因緣がねえと仰しやいましたが莫更因緣のねえ事もございません、平松樣の御主人には俺は平方々、即ち精神的にまれ、肉體的にまれ、共通に感じて居らるゝ點であり、然し之は非常な淺薄な考へであつて事實は全然之れと反して居るのであります。

◆本來人は何かの働きをせずには居られない樣に出來て居ります、眼、耳、鼻、口より手足に至るまで、殊に頭腦は更に一層精密に微妙に、物事を記憶するやうに、思考するやうに、推理、判斷、相像に至るまで誠に都合よく遺憾なく出來上つて居ります、然し此等の諸機能とても、少しの力をも用ひず、又何等の抵抗をも感せずに自由自在に働かせて行くといふ譯には參りません、常に周圍の大小强弱樣々なる抵抗に對して戰ひつゝ、時に少しく努力し、時には大に努力し、奮闘して働かなければなりません、而して此の努力し奮闘して働くといふ所に人生の幸福が味ひ得らるゝことゝなるのであります其れ故に遊んで暮すことが必ずしも幸福だとは申されませんのであります。

◆彼の片手に經典、片手に劍を握つて自分の宗教を布教して歩いたといふ回々教の宗祖マホメットは『戰場に斃れたる武夫は、三日間極樂の歡喜を享受たる後、甦て再び千軍萬馬の間に奮戰する戰場を追慕するであらう』と申されたと云ふ事ですが、これは確に一面の眞理を穿つた語で人の眞に樂む所は、自分の力を飽迄も用ひると云ふ、所謂勤勉努力する處に人としての最大幸福があるのだと思ひます、此れから考へましても妾達は獨逸婦人を理想にし伊太利婦人の美點を模範として日本婦人としての美點を充分に發揮してゆかなければならんと思ひます、とかう申されました。

◆一寸考へますと汗水垂らして、何か骨の折れる仕事をすると云ふ事は如何にも苦痛なことで、若し之に反して何も働もせずに、極めて安樂に遊んで暮すことが出來たならば、人生に於て是程幸福な事は無い樣に思はれるでありませう、そして之は單に妾達ばかりでなく、恐らく總ての職業といふ職業に從事して居られる方々、即ち精神的にまれ、肉體的にまれ、共通に感じて居らるゝ點であります、然し之は非常な淺薄な考へであつて事實は全然之れと反して居るのであります。

◆本來人は何かの働きをせずには居られない樣に出來て居ります、眼、耳、鼻、口より手足に至るまで、殊に頭腦は更に一層精密に微妙に、物事を記憶するやうに、思考するやうに、推理、判斷、相像に至るまで誠に都合よく遺憾なく出來上つて居ります、然し此等の諸機能とても、少しの力をも用ひず、又何等の抵抗をも感せずに自由自在に働かせて行くといふ譯には參りません、常に周圍の大小强弱樣々なる抵抗に對して戰ひつゝ、時に少しく努力し、時には大に努力し、奮闘して働かなければなりません、而して此の努力し奮闘して働くといふ所に人生の幸福が味ひ得らるゝことゝなるのであります其れ故に遊んで暮すことが必ずしも幸福だとは申されませんのであります。

◆彼の片手に經典、片手に劍を握つて自分の宗教を布教して歩いたといふ回々教の宗祖マホメットは『戰場に斃れたる武夫は、三日間極樂の歡喜を享受たる後、甦て再び千軍萬馬の間に奮戰する戰場を追慕するであらう』と申されたと云ふ事ですが、これは確に一面の眞理を穿つた語で人の眞に樂む所は、自分の力を飽迄も用ひると云ふ、所謂勤勉努力する處に人としての最大幸福があるのだと思ひます、此れから考へましても妾達は獨逸婦人を理想にし伊太利婦人の美點を模範として日本婦人としての美點を充分に發揮してゆかなければならんと思ひます、とかう申されました。

◆一寸考へますと汗水垂らして、何か骨の折れる仕事をすると云ふ事は如何にも苦痛なことで、若し之に反して何も働もせずに、極めて安樂に

婦人欄

遊んで暮すのが……幸福か？……【寄書】

芳子

◆先日妾も久し振りで田舍を廻つて參りました、小春日和を呑にあびながら―『鞆のむかひの仙酔島……』と廣島訛で唄ひながら雪より白い棉の實を摘採して居らるゝ姉妹樣の御愉快そうな御姿を拜見致しまして、妾も事情が許すなら姉妹樣と御一所に働いたら如何なにか樂しみだろうとつく〳〵感じました、そうして御丹誠の御馳走になり、色々と御生活の實情や有益な御經驗談を承はりまして歸聖りました、その折に妾に豐子さんが御話しになりましたことを茲に申上ます。

◆『ほんとうに最初の一年は如何しやうかと思ひました、什事は馴れて居りませず、日本から持つて參りました着物は皆な切れ切れになるし、本當に泣き度くなりました、それに直ぐ隣り屋敷に住んで居る伊太利人などが、さも樂しそうに働いて居るのを見ますと如何してあんなに出來るんだろうとツク〳〵考へました、今日から考へますと至つて、つまらない事なんですけれど、その時分の妾達は只だ遊んで暮すのが幸福だとばかし考へて、苦痛の河を渡らない中から彼岸の悦樂ばかり眺めて心を急がせて居つたのでした。

◆『ほんとうに最初の一年は如何しやうかと思ひました、什事は馴れて居りませず、日本から持つて參りました着物は皆な切れ切れになるし、本當に泣き度くなりました、それに直ぐ隣り屋敷に住んで居る伊太利人などが、さも樂しそうに働いて居るのを見ますと如何してあんなに出來るんだろうとツク〳〵考へました、今日から考へますと至つて、つまらない事なんですけれど、その時分の妾達は只だ遊んで暮すのが幸福だとばかし考へて、苦痛の河を渡らない中から彼岸の悦樂ばかり眺めて心を急がせて居つたのでした。

◆一寸考へますと汗水垂らして、何か骨の折れる仕事をすると云ふ事は如何にも苦痛なことで、若し之に反して何も働もせずに、極めて安樂に

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

日本郵船會社定期船
◉さぬき丸
六月中旬ブエノスアイレス出帆廿日頃リオ港着の上三等客乘船日本に向ふ

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし
伯剌西爾移民組合支部
(Caixa Postal 1082)
Rua Vergueiro 15, S. Paulo.
アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo.

植民募集
エスタソン　ポルトジョン、アルフレッド
西原植民地
(停車場より一キロメートル)
Estação Porto João Alfredo
L. Sorocabana
土地の年期貸與と家屋、食料、其他に關し各種の便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の持主たらしむるを方針とす
米、豆、カンナ、棉花、煙草等の收穫善美にして運輸交通の便宜と衛生佳良なる經驗を有す
明細書は御請求に應じ送呈す　猶ほ實地御視察を乞ふ
千九百十九年五月